

子供たちへの希望が述べられました。
そのほか、次の世代に期待することはありますか？

「久留米にも、たとえば柔道の素根輝選手や古賀若菜選手など、将来を囑望されるアスリートたちがたくさんいます。オリンピックや世界大会で金メダルを狙えるような選手の存在は、市民みんなにとっての夢や希望ですね。

さらには野球やサッカーといった、子供たちに人気のスポーツで日本チームが活躍すると非常にわくわくしますね。将来、その中に久留米にゆかりのある選手がいてくれたら、素晴らしいことです。

もちろん、一流のスポーツ選手から感銘を受けるのはアスリートだけではない。音楽家やアーティスト、起業家、研究者、また受験に臨む学生の皆さんも同じことだと思います。

この事前キャンプは、そういったすべての人々が「世界一のアスリートがメダルという目標をめざしてどのように自分をコントロールしているのか」を見る機会だと思うのです。そういった意味では、結果を出す場である試合以上に、トレーニングを見ることは価値があると思います。「アスリートファースト」が大前提ですから、選手団やオリンピック協会の判断とは思いますが、できれば選手の負担にならないように市民との交流イベントを考えたり、公開練習の機会をいただければと思います。」



最後に、ケニア、カザフスタン両国へメッセージをお願いします。

「久留米を公式キャンプ地に選んでくださったことを感謝しており、久留米として全力で応援します。さらに、これを契機にケニアやカザフスタン国内の各都市などと、市民レベル・企業との交流などにも繋がれたらと思います。」

